

PCRセンター設置について

目的：新型コロナウイルス感染に対する学生、教職員の不安を軽減し、「withコロナ」の新しい生活様式に沿った、より安全で安心な教育環境と学生生活を確立するため、必要な時に何度でも検査を受けられ、安全、安価で迅速に結果が得られるセンターを、本学薬学部を設置することが最善と判断しました。

背景：武庫川女子大学では2020年度後期から対面授業を7割まで再開しています。また、教育学部や食物栄養科学部、看護学部、経営学部、薬学部など、学外実習が必須の学部が多く、クラブ活動、社会連携など学外での活動も活発です。こうしたことから、学生が健康に学外実習や課外活動に取り組み、実習先をはじめ学外のみなさまが、安心して本学の学生を迎え入れていただけるよう、体制を整える必要がありました。

PCR検査について

1. 事前に健康チェックをパスした無症状者のみを対象に、PCR検査を行う。
2. 検査の前に教育講演を行い、「将来感染しないことを約束するものではない」などを理解して、検査結果を正しく利用してもらう。
3. 唾液採取に際してはPCRセンター内で、医師の立ち会いと確認の元、本人自身が特別な容器を用いて安全に行う。
4. 検査結果の通知は、PCRセンターが受付けた検体の検査値に基づいて速やかに行う。
5. 将来的な地域貢献としては、公的機関や学校、地域自治会などからの要望に対応する。個人的な対応はしない。

武庫川女子大学 PCRセンター



教育環境の向上



Step 1

学外実習の安全



Step 2

クラブ活動の活性化



Step 3

就職活動の効率化



Step 4

研究環境の向上



Step 5

地域社会への貢献



Step 6